

人手不足解消にシルバー会員が一役!!



北郷町のハウス農家でスイートピーの苗の植えつけ作業をする(昨年9月)



11月半ばには開花するので収穫時期が楽しみだという。

スイートピーは日南市の特産品の一つで、その生産量は日本一を誇る。北郷町のこの農家でもビニールハウス(二十アール)でスイートピーを栽培している。昨年は台風の影響で作業が遅れ気味だったが、それでもシルバー会員らの手を借りて遅れた作業を挽回、九月半ばには苗の植えつけ作業を終えた。十一月半ばには開花するという。収穫は三月末頃まで続くので、例年通り五十万本の出荷を見込んでいるという。

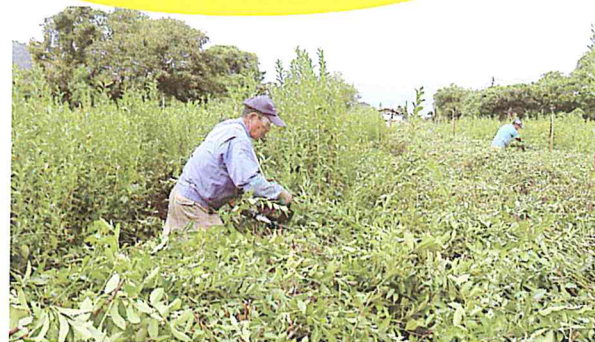


植えつけられた苗



腰を下ろして移動しながらの細かく手の込んだ作業だが、シルバー会員らは黙々と一本一本丁寧に植えつけていく。

大型台風10号の接近で急きょブルーベリーの収穫作業(昨年9月)



電動工具トリマーを使って収穫作業に追われるシルバー会員

プロアールで校庭をきれいにする会員(くろしお支援学校で)



学校の教育現場にシルバー会員の姿
■環境整備員■

日南市シルバー人材センター(谷口孝雄理事長)の会員登録者は約300人。さまざまな経歴をもった人たちが集まり、自主・自立・共働・共助の理念のもと各分野で社会活動をしている。

今年度より始まった県立学校の環境整備員の仕事もその一つ。県の依頼を受け、宮崎県シルバー連合会派遣社員として、日南高校、日南振徳高校、日南くろしお支援学校の3校5名が学校周辺の環境整備に汗を流す。

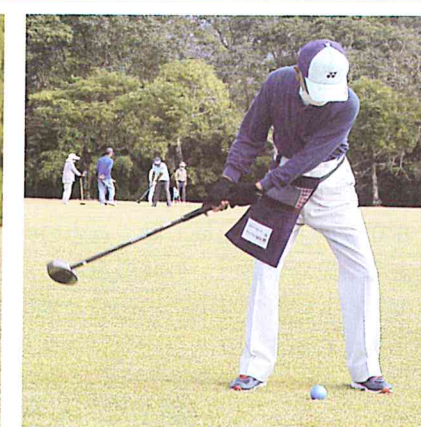
くろしお支援学校では会員が週2回二人一組で作業。教育現場を預かる誇りを胸に、早朝から校庭の草むしりや木々の剪定をおこなうことで、学習環境の整備に尽力している。

ブルーベリーの収穫といっても、ここでは紫色の実ではなく葉の部分。実よりも葉にポリフェノールなどの有効成分が多いともいわれ、葉を使ったお茶が工夫され、重宝がられている。ガンなどの予防に効果的だという。

栽培農家は、まだ少ない。日南市のこの農家は貴重な存在。台風10号の接近で被害に遭っては大変と収穫作業を余儀なくされ、シルバー人材センターへ収穫応援を打診。会員らの協力で無事収穫作業を終え、難を逃れたという。

コロナ禍を超えて久しぶりにハッスル

日南市シルバー人材センターのグラウンドゴルフ大会



新型コロナウイルス感染拡大の影響で多くの社会活動が阻害されてきたが、それでも秋になると制限が徐々に緩和され、次第に普段の日常風景に。そんな折でのグラウンドゴルフ大会で、会員らは3密を避けながら久しぶりにハッスル、思い思いのスタイルでプレーを楽しんでいた。



ホールインワンを目指して、それっ!!



秋晴れの下、市運動公園であったグラウンドゴルフ大会。集計後、入賞者の表彰式もあり、みんな久しぶりのイベントに爽やかな汗を流していた。(10/16)